

愚楽牧場の希望は従業員を一つの場所で一定程度生活をともにするスペースの施設ということで、民間施設にはこの部分がないとの理由で休止状態の独身寮の貸与をしている。

政権交代後の財政の影響について

館田 賢治議員

問 予算等の中で保留だとか、見通しが甘くなると思われるものがあるかどうか。

答 従来の経済対策の予算の関係するもの、後期高齢者の廃止等、国民健康保険と大きな関係の問題が起きてくる制度等を含めて、現在のところ見守っている状況である。

定額給付金について

館田 賢治議員

問 本町における定額給付金の給付状況を聞く。

答 九月一日現在で、申請率九八・三七％、対象件数三、六二〇件中三、五六一件の申請である。

問 通知している期間中に断つてきたものがあるか。また、残ったものの取り扱いはどうするのか。

答 現在は五十九件残っている。最終的には本人の意思が優先である。

実績の精算ということで期日までに給付された部分が最終的になる。

上・下水道

磯分内地区下水道事業の進捗状況は

黒沼 俊幸議員

問 磯分内下水道事業の測量、地質調査が行われているが、この事業の



磯分内下水道事業の地質調査

進み具合はどうか。また、下水処理場の設置場所はどこか。

答 管渠と処理場施設計をするための測量と地質調査の工期は、九月三十日である。処理場と管渠の設計は来年二月二十三日が工期である。下水処理場は、旧東公住の跡地である。

問 磯分内は上水を使わないで掘り抜き井戸を使っての下水道利用になるが、問題点はあるか。

答 掘り抜き水の対策については、六軒に水道メーターをつけ調査した。その内二軒については一日使用量の三倍から四倍の水が流れてきている。それに対する供用開始後の指導等について今後検討していく。

農 林

阿歴内乗馬施設の更なる活用を

川村多美男議員

問 阿歴内乗馬施設に貸し出した多和育成牧場の馬の活用状況を聞く。

答 三頭のうち二頭は調教が順調に行われ、乗馬体験用に活用されている。一頭は調教中である。

問 障害のある人の乗馬による回復など活用を考えるべきだ。町内外へのPRをしていくべきではないか。

答 今後、PRや有効な活発な活用が図られるよう検討していかねばならないと考えている。地域の意識の増強を願っている。

牧草の質、収量の状況はどうか

川村多美男議員

問 六月の大雨以降、大変な異常気象のなか、牧草の生育、質、収量の確保はどのような状況か。また、多和育成牧場の牧草の収穫についても伺う。

答 各農家の収穫時期がかなり違うので正確な数値はつかみかねている。質についてもサイレージを開けるまで結果が分かるが、

らない状況である。
多和育成牧場では、一番草は天気の良い時期を指して作業をしたので、量とも良い状況である。二番草については、長雨の関係で収量は少ない状況である。

農地の貸借・交換分合・遊休地について

舘田 賢治議員

問 離農者の土地の貸借や所有者が町内・町外など多様であるが貸借についての基本的な考え方を聞く。

答 農地法が改正されたが、農地法の精神というのは耕作者が所有すべきであるという基本的な部分は大きく変わっていない。特に所有者が町外についての連絡は意向を聞き、機会を見つけて促している。

問 本町の農地の交換分合関係の取り組み方の必要性はどのように捉えているのか、また方針について聞く。

本町農業の一つのネックというのが土地の分散化だと認識している。土地の効率化を図る手法としてTMRセンターの建設の可能性について、農業委員会・農協と度々意見交換している。

答 本町農業の一つのネックというのが土地の分散化だと認識している。土地の効率化を図る手法としてTMRセンターの建設の可能性について、農業委員会・農協と度々意見交換している。

農地開発事業で湿地改良等を実施されたが、遊休地に戻ってしまったような農地の取り扱い対応について聞く。

答 耕作放棄地の解消については、大きな課題として取り上げられ、調査・対処について農水省から指示があり、農地として困難であれば植林することも手法として検討している。

耕作放棄地の解消については、大きな課題として取り上げられ、調査・対処について農水省から指示があり、農地として困難であれば植林することも手法として検討している。

農業者年金について

舘田 賢治議員

問 農業委員会の活動状況と加入推進について聞く。

答 推進自体は農業委員会の系統組織が中心になっているが農協と連携しながら取り組んでいる。現在の制度は積み立て



産業祭会場での宣伝活動

し、運用しながら年金として返すシステムとなっている。産業祭会場においても制度普及の宣伝をおこなっている。

商工

観光マップ作成委託について

舘田 賢治議員

問 観光マップは、どこで作るのか、また観光協会として今後の展開について聞く。

答 緊急雇用創出事業で雇用人数は一名、観光協会との委託契約で市街地の店舗・観光マップ作成業務ともう一つは旅行者へのアンケート調査を業務とする。標茶の観光戦略については役員とも協議し再度練り上げていく。



格納施設解体工事

土木

SL機関車跡の撤去を

川村多美男議員

問 桜公園SL機関車跡の鉄骨と上屋の処分はどうなっているか。

答 処分については住民の意見も聞き、当初予算に計上している。九月末発注、年内撤去完了の予定である。

桜パークゴルフ場の
点検、整備を

川村多美男議員

問 利用者のマナーの問題もあるが、パークゴルフ場のOB杭、案内看板、フェンスなどの破損がある。点検、整備を行うべきではないか。

答 点検は不定期に行っている。施設、設備の整備については、利用者のマナーも課題であるが、開設して十年を経過しているので、来シーズンに向けて検討していく。

問 桜パークゴルフ場の犬の糞害があるが、防災訓練跡地にドッグラン的なものをつくってはどうか。

答 広報等でマナーの向上をよびかけていきたい。防災訓練跡地の活用については、車による暴走状態の心配がある。今、即

座に判断できる状況にはない。

教 育

廃棄パソコンの利用

田中 敏文議員

問 学校教育関係にパソコンがかなり多く導入される。今まで使われていたパソコン等はどのように処分をするのか。

答 学校の児童用、教育用、公務用、教師用のパソコンを小中学校に導入するが、年数が七年以上たち適正な法律に基づいて処分する予定になっている。

問 町内で使用者を募つて中古で出すようにはできないか。七年ほど使われたとしても使える能力のあるパソコンと思うがどうか。

答 来年の六月OSSサポートが全部切れ、実際にはすべて使い物にならない。容量的に古くOSS全部入れかえには、かなりの手間と手数料がかかり考えていない。

問 今までどおり個体的なパソコンを設置して、先生、生徒が使われるのか、またサーバー的な導入なのか。

答 今回の導入に当たつて役場はサーバー方式で行っているが、これとも若干違い、各児童生徒用にはそれぞれ個体ごとの形とし、一括管理の方式をとる予定でネットブース型整備方法とし特徴的には、一元管理が容易であり、各パソコンごとにハードディスクを持たず個体一台ずつに管理がしなくてもよいという特徴でこの方式を現在予定している。

高度へき地の修学旅行の助成金について

後藤 勲議員

問 修学旅行の助成金で、四万二千円を補助しているがその内容について伺う。

答 修学旅行に助成金があり、補助率は三分の二で小学校四校で十三名、中学校五名となっている。今回の補正は中学校分で、補助額が不足分四万二千円を補正した。

『ふるさと給食』の今後の取り組み状況は

平川 昌昭議員

問 ふるさと給食の助成があるが、食育の一環としての取り組み状況について聞く。

答 管内町村会の地域づくり広域プロジェクトの一環として農畜産部門で取り組もうということ

で、各自治体それぞれ創意工夫を凝らし実施している。

家庭でのふるさと給食については給食だよりを含めて家庭への協力依頼をしている。

問 食材供給側と需要側との連携を構築し、予算化に向けて積極的に取り組みではどうか。

答 乳製品等々は以前から取り組んでおり、標茶産の牛肉供給も出ており、併せて飲用乳の供給可能についても実現をめざす。生産者、経済団体とも含めて取り組んでいきたい。

